

◎先行きの見えないコロナ禍と度重なる「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」等の状況下、諸行事や計画も変更・自粛を余儀なくされました。諸事業にわたり、当初の計画から以下一部変更いたしました。（令和3年度事業計画を基に。）なお、「変更〔自粛〕」と記した事業がその対象です。

## I 【育成事業】

### 1) 國學院大學学生等支援

#### ①「学術・スポーツ振興資金」制度による支援〔継続実施〕

イ：学術部門 … 母校所蔵の貴重資料デジタル化に 100,000 円を支援する。

ロ：スポーツ部門 … 硬式野球部・陸上競技部(長距離部門)・柔道部に各 700,000 円を支援する。

・母校第二強化部会で好成績を収めた卓球部・ソフトテニス部・スキー部の3団体に、各 300,000 円を支援する。 ※令和2年度、3年度と継続して支援する。

#### ②教職を目指す学生の支援〔継続実施〕

・「学習指導要領」を小学校・中学校・高等学校それぞれの教員を目指す学生に贈呈する。  
渋谷キャンパス、たまプラーザキャンパス、での教職志望学生が対象。

#### ③「國學院大學キャリア講座」の開催〔継続実施〕

・内 容：母校キャリアサポート課と連携して、新たに社会人となる学生達が、必要な知識等を学ぶ講座。  
その内容はキャリアサポート課と相談し、学生の要望や社会の要請に則したタイムリーなものにする。オンラインを中心に開催を予定。

・講 師：講師未定

・日 時：未定 ・会 場：院友会館（対面の場合） ・受講料：無料（諸経費は本会で負担）

・共 催：國學院大學

#### ④「院友会長賞」による支援（学生の部）〔継続実施〕

・母校の名声を高めた学生（団体も可）に贈呈する。副賞 100,000 円。

⑤**変更〔自粛〕** 球場や、競技場、試合場、応援席等に掲げる旗や幟、横断幕等、貸し出しを行う。  
／無観客開催、応援自粛等の影響。

#### ⑥大学と連携して、学生の就職支援動 〔継続実施〕

・本部が主体的に、全国各支部・部会、職域会等と連携して、Uターンや就職活動の支援、アドバイス、情報提供等の支援体制を構築する。継続して連携していく。

#### ⑦大学が開催する若手OB・OGによる就職アドバイス会等への協力 〔継続事業〕

・キャリアサポート課で実施している3年生を対象とした、若手院友による業種別説明会、アドバイス会等に協力する。若手院友同士、また参加学生への支援や交流等にも協力する。

#### ⑧**変更〔自粛〕** 日本の伝統文化体験支援

・学生、留学生を主な対象として、日本の伝統文化等に関する学び・体験の機会を必要に応じて支援する。

⑨**変更〔自粛〕** 学生県人会の発足、活動を支援／発足を目指して準備するが、活動は自粛する。

### 2) 会館施設の貸与、又は経費の補助

#### ①公益また育成事業に該当する学生の会館利用の際の施設の貸与、経費の補助 〔継続実施〕

#### ②國學院大學の授業、諸講座への会館施設の貸与、経費の補助 〔継続実施〕

・大学が実施する学生のための会館利用に際して、可能な限り協力、支援する。（神道研修部研修会等）

### 3) 全国の高校生を対象とした文化事業支援

#### ①「第25回全国高校生創作コンテスト」に協力支援する。〔継続実施〕

・主 催：國學院大學、高校生新聞社（共催）

・協 賛：本会、若木育成会

・後 援：文部科学省 他（予定）

#### ②「第17回地域の伝承文化に学ぶコンテスト」に協力支援する。〔継続実施〕

・主 催：國學院大學、高校生新聞社（共催）

・協 賛：本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部

・後 援：農林水産省、全国高等学校校長協会 他（予定）

## II【講座・講演会事業】

### ① 変更【自粛】『風土記を読む（第5期）』～『出雲國風土記』を読む～の開催

- ・定員縮小で秋以降の実施（対面）としたいが、状況によっては再度延期も視野に入れる。
- ・講師：谷口雅博氏（國學院大學文学部教授） ・日時：未定。／回数未定。
- ・会場：院友会館 3階大会議室 ・定員：30名

### ② 変更【自粛】院友学術振興会公開講座『國學院の古典』（第24回）の開催

- ・内容：協力団体である院友学術振興会（國學院大學で学位を得た方々の会）との共催講座。  
古事記・万葉集・源氏物語・中国文学・風土記・国語学、神道など、國學院が培ってきた学問を基に、多彩な分野から講義を行う。
- ・定員縮小で実施（対面）したいが、状況によっては再度延期も視野に入れる。新たな方法も検討する。
- ・日時：令和4年1月12、13、14、15日の4日間：予定 ※1日、1コマ・1講師で実施（予定）。
- ・会場：院友会館 3階大会議室 ・定員：未定 ・後援予定：國學院大學

### ③ 生活芸術講座の開催〔継続実施〕

- ・一般社団法人儀礼文化学会との共催講座。
- ・儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付け、その文化的芸術的価値として「美」を考えていく講座。日本文化の形と心を考え、体験する講座。
- ・連携しながら、できる方法で実施する。
- ・日時／令和4年2月13日（日）
- ・内容／講師／定員：未定
- ・会場：院友会館 3階大会議室

### ④ 変更【自粛】令和3年度 一般公開講演会の開催

- ・秋以降の院友大会開催の状況で、参加者を対象として検討していく。

### ⑤ 変更【自粛】大規模災害被災地公益事業〔平成26年度から実施〕

- ・大規模災害被災地域における支部活動を支援する。伝統文化や伝統芸能の再興、心の復興のために、支部が地域で展開する事業に対する支援。

### ⑥ 「公益事業実施規程」に基づき、『もっと日本を学ぼう』の統一テーマのもと、公益的な講演会やさまざまな事業を、支部と共に地域で実施。〔継続実施〕

- ・この実施規程に基づく支部主管の一般対象の公益事業は、上限300,000円：3支部
- ・支部総会開催時の出席者限定の講演会実施は、ガイドライン等に準拠して開催できる。  
令和3年度は3支部とする。但しその地域の状況により、自粛や中止をお願いすることもある。

### ⑦ サロン・コンサートの開催〔継続実施〕

- ・安心して参加していただける準備の下に、開催を目指す。但し状況で中止もあり。
- ・元気が出る楽しいコンサートを、地域社会貢献として実施に向けた準備を行う。

### ⑧ 変更【自粛】新規講座・講演会等実施

- ・今年度の開催はしないが、次年度以降について、従来とは異なる方法も検討して準備をする。

## III【会館施設提供事業】〔継続実施〕

本法人は、広く地域の方々にも有効活用していただける「院友会館」を有することから、この施設が地域の方々の交流の場となり、それをきっかけとしてさらに地域が活性化するよう、積極的に取り組む。コロナ禍の影響の中で、引き続き安全安心を確保しながら、できる限りの対応を行う。

## IV【特定寄付】

### 1) 國學院大學への協力〔継続実施〕

- ①「大規模災害学費減免制度」／母校の学生支援状況に基づき「大規模災害学費減免制度」へ1,000,000円の支援を行う。
- ②國學院大學が進めている全国の高校生対象の文化事業への寄付〔継続実施〕  
… 200,000円の支援を行う。

## V【同窓会事業】

### 1) 会報発行発送事業

#### ①《院友会報》の編集発行〔継続実施〕

- ・「378号」… 暑中見舞号／8月5日付、8月上旬発送予定。：住所判明者全員
- ・「379号」… 新年号／1月1日付、12月上旬発送予定。：会費納入者へ発送。
- ・「380号」… 新院友歓迎号／3月20日（日）付、卒業式に発行3月下旬発送予定。：住所判明者全員

・毎号、プレゼント企画を実施する。〔継続実施〕

※3月号を、翌年度の若木育成会本部総会、支部総会においても配布し、本会認知度の向上を図る。

## 2) 会員統括組織化事業

(1) **変更【対面自粛】《支部長会議：通算第41回》の開催** / 書面開催とした。

- ・日 時：5月29日(土) 13:00~16:00 (予定)
- ・会 場：國學院大學渋谷キャンパス 若木タワー02 会議室
- ・備 考：支部長もしくは事務局代表者、各支部1名を全国各支部・協力団体から招聘 / 「支部運営費」等の事務的事項、公益目的事業実施や学生支援などの説明。

(2) **変更【自粛】令和3年度院友大会の開催**

- ・日 時：未定/秋頃の開催を予定する。
- ・会 場：未定
- ・会 費、諸企画：未定

(3) **母校ホームカミングデーへの協力** 〔継続実施〕

- ・会 場：國學院大學 渋谷キャンパス/たまプラーザキャンパス
- ・日 時：未定

(4) **変更【自粛】《新年院友交歓会》の開催**

- ・日 時：令和4年1月22日(土) 予定。
- ・会 場：院友会館

(5) **本会公式ホームページの活用** → <https://www.kokugakuin.or.jp> 〔継続実施〕

- ・母校・学生・各支部や院友情報の発信及び会館の宣伝・広報等、充実を図る。
- ・Twitterによる情報発信。
- ・ホームページでのお知らせ、ニュース、支部情報等に、Twitterも加えて、発信を行う。

(6) **院友会員のデータ管理** 〔継続実施〕

- ①院友会報の発送先調査やホームページの住所変更届等による会員情報の更新
- ②大学と連携して、卒業生の住所調査を行う。
- ③本会会費管理、発送業務管理。院友の個人情報としては大学と共同利用する。

(7) **各支部総会等への出席**

- ・コロナ禍の状況で、移動等が可能であれば出張者を大学と調整して参加し、情報交換や交流を行う。会費等への協力依頼も合わせて行う。〔継続実施〕
- ・理事会でも支部の様子、意見、総会に関する事、支部運営費に係ること等、情報を共有する。

(8) **変更【自粛】 院友の交流/院友ゴルフクラブコンペなどへの協力。** 〔継続実施〕

- ・院友ゴルフクラブのコンペは、コロナ禍の状況を鑑みて開催を判断する。

(9) **変更【自粛】 その他/支部総会等への記念品を作製する。**

◎**変更【新規】** / 卒業記念品等の検討。

## 3) 同窓会共通事業

(1) 「院友会長賞」の贈呈 (院友の部) 〔継続実施〕

- ・学術、スポーツ、社会貢献などの各分野において、母校の名声を高めた顕著な活動を称える。
- ・院友(団体も可)に贈呈する。副賞 100,000円。

(2) **協力団体「院友学術振興会」との協力連携を通して学術の振興に寄与する** 〔継続実施〕

- ・本会の協力団体である「院友学術振興会」(母校で学位を得た方々の会)の活動を支援する。
- ・100,000円の特別支援を実施する。(論文集「新國學」編集発行等。)

(3) **大学への協力**

①「院友子弟等特別選考入学試験制度」の宣伝・広報(会報、ホームページ、支部総会などで) 〔継続実施〕

② **変更【自粛】** 大学実施の「神職養成講習会」への協力。  
/ 夏は講習会中止。冬は本会館での受入れ自粛とした。

③ 「國學院カード」新規加入の促進協力。〔継続実施〕

④ **変更【終了】** 古事記学センターの事業、古事記アートコンテスト巡回展示に、協力する。

⑤ 大学開催行事、式典等に人的な協力を行う。その他、状況により必要な協力を行う。

(4) **院友の図書 整理受入等** 〔継続実施〕

- ・院友等の寄贈図書受入れ。会報・ホームページ等でののお知らせやショーケースに陳列する。
- ・データとして蓄積していく。

(5) **協力団体との連携** 〔継続実施〕

- ・院友経済会、マスコミ院友会、院友学術振興会、法学部OB・OG会の協力4団体との連携強化のため必要事業に協力する。

- (6) 会員へのサービス／電報サービスの実施〔継続実施〕  
・結婚・叙勲・褒章・褒賞等への祝電等を贈る。
- (7) 会費・寄付金等納入促進を図る〔継続実施〕  
・コロナ禍の厳しい社会状況であるが、必要な依頼を行う。  
／支部、職域、会社、学校等、グループへの依頼を行う。
- (8) 研修等の実施／職員の研修。業務関係等のセミナー、研修への参加を支援する。〔継続実施〕

#### VI【収益事業】〔継続実施〕

- ・安全安心を図りながら事業を推進し、会館の利用促進に努める。
- ・サービス期間を設けて、促進を図るなど、必要な工夫を行う。
- ・助成金について、必要な対応を行う。
- ・各職域の院友と協力して、収益につながる新しい企画を検討、実施する。

◎変更《新規》 Wi-Fi アクセスポイント設置。

#### VII【法人事業】〔継続実施〕

- ・定期提出書類の提出。…理事会・評議員会の手続きを経て、「公益目的支出計画実施報告書」を監督官庁である内閣府へ提出する。
- ・業務執行理事連絡会議の開催。
- ・監査を実施する（年二回）。

◎変更《新規》・基金回復を図る。基金等積立増加。

- (1) 評議員会の開催…定款に基づき、定時評議員会を開催する。
- (2) 理事会の開催…定款に基づき、理事会を開催する。

#### VIII【その他 共通事項】

- (1) 設備の補修・改修〔継続実施〕・令和3年度は、会館竣功34年目。
  - ・修理・補修の実施。／修繕費予算で対応していく。但し、必要な際には積立金の取崩にて対応する。
  - ・必要備品の補充・購入等必要なことに対応する。
  - ・消毒・除菌関係の備品やコロナ禍での状況を踏まえて、必要な対応をする。
- (2) 危機管理など／コロナ禍での職員、来館者の安全・衛生面での徹底を図る。
  - ・防災計画等を基に、日常での防災管理の徹底と、防災訓練を実施する。
- (3) 母校校友課との連携
  - ・諸事業、行事について協力・連携し、若木育成会（在学生保護者会）と本会各支部との交流を推進する。
- (4) 新たな中期計画の作成／今後の本会財政基盤安定、コロナ禍での諸活動について施策を検討する。

以 上